

4) 1ヶ月間の発行件数（平成18年10月）

1ヶ月間の明細書の発行件数は以下のとおりである。

外来については、病院は平均600.46件、診療所は595.34件、歯科診療所は255.14件となっている。

入院については、病院は62.31件、診療所は35.60件、歯科診療所は0.00件となっている。なお、診療所・歯科診療所の「発行件数（入院）」は有床診療所のみの平均値（それぞれ、n=31、n=1）とした。

また、保険薬局の発行件数は、平均668.60件となっている。

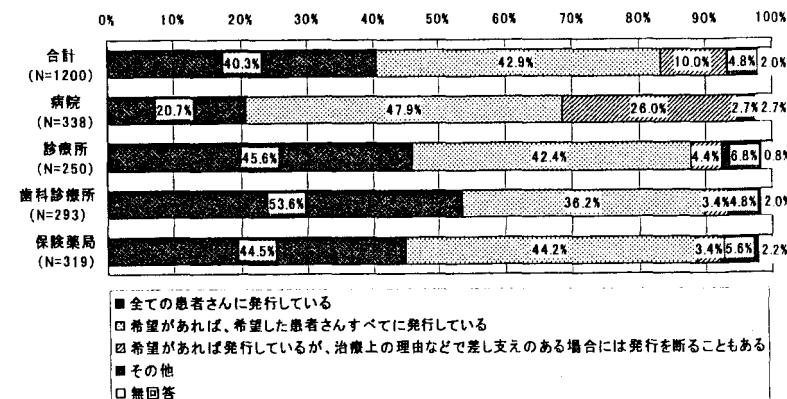
図表 40 1ヶ月間（平成18年10月）の発行件数

		発行件数（外来）		発行件数（入院）	
		平均（件）	標準偏差	平均（件）	標準偏差
全体	(n=1,200)	488.20	1,546.97	39.75	191.44
病院	(n= 338)	600.46	2,310.40	62.31	240.31
診療所	(n= 250)	595.34	942.27	35.60	102.72
歯科診療所	(n= 293)	255.14	306.42	0.00	0.00
		発行件数			
保険薬局	(n= 319)	668.60	1,006.19		

5) 明細書の発行状況

明細書の発行状況についてみると、病院においては、「希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している」（47.9%）が最も多く、次いで「希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある」（26.0%）となっており、診療所においては、「全ての患者さんに発行している」（45.6%）が最も多く、次いで「希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している」（42.4%）となっている。また、歯科診療所においては、「全ての患者さんに発行している」（53.6%）が最も多く、次いで「希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している」（36.2%）となっており、保険薬局については、「全ての患者さんに発行している」（44.5%）が最も多く、次いで「希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している」（44.2%）となっており、「希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している」（44.2%）となっている。

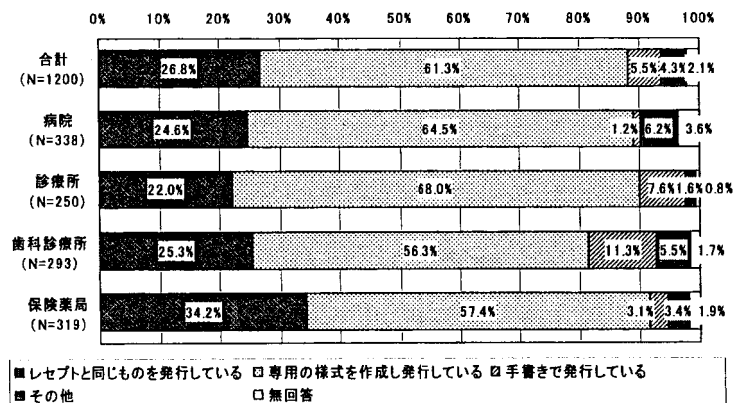
図表 41 明細書の発行状況



6) 明細書の発行方法

明細書の発行方法についてみると、病院においては、「専用の様式を作成し発行している」(64.5%)が最も多く、次いで「レセプトと同じものを発行している」(24.6%)となっており、診療所においては、「専用の様式を作成し発行している」(68.0%)が最も多く、次いで「レセプトと同じものを発行している」(22.0%)となっている。また、歯科診療所においては、「専用の様式を作成し発行している」(56.3%)が最も多く、次いで「レセプトと同じものを発行している」(25.3%)となっており、保険薬局については、「専用の様式を作成し発行している」(57.4%)が最も多く、次いで「レセプトと同じものを発行している」(34.2%)が多くなっている。

図表 42 明細書の発行方法

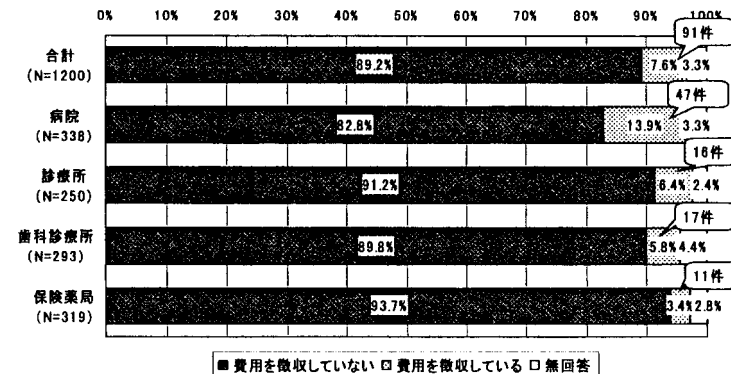


7) 費用徴収の有無

費用徴収の有無についてみると、病院においては、「費用を徴収していない」(82.8%)、「費用を徴収している」(13.9%)となっており、診療所においては、「費用を徴収していない」(91.2%)、「費用を徴収している」(6.4%)となっている。また、歯科診療所においては、「費用を徴収していない」(89.8%)、「費用を徴収している」(5.8%)となっており、保険薬局については、「費用を徴収していない」(93.7%)、「費用を徴収している」(3.4%)となっている。

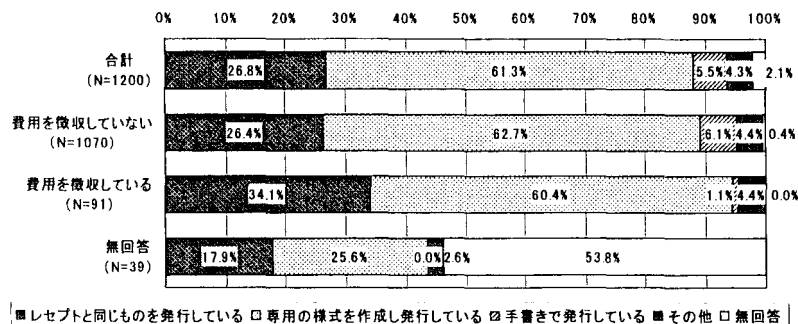
なお、費用を徴収している施設の件数を、ふき出しで示した。

図表 43 費用徴収の有無



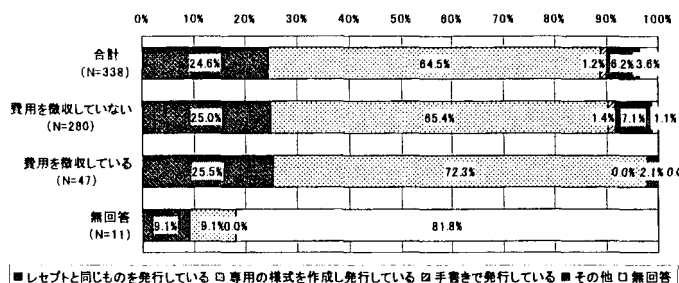
なお、明細書発行方法を費用徴収の有無別にみると、費用を徴収していない医療機関全体では26.4%、徴収している医療機関全体では34.1%が「レセプトと同じものを発行している」と回答していた。双方ともに、約6割で「専用の様式を作成し発行している」との回答であった。

図表 44 明細書の発行方法（費用徴収の有無別：全体）

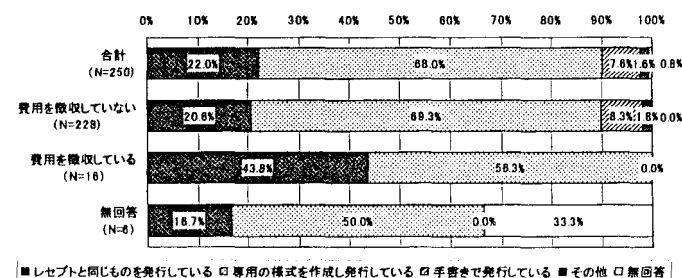


なお、医療機関種別の状況は以下のとおりである。

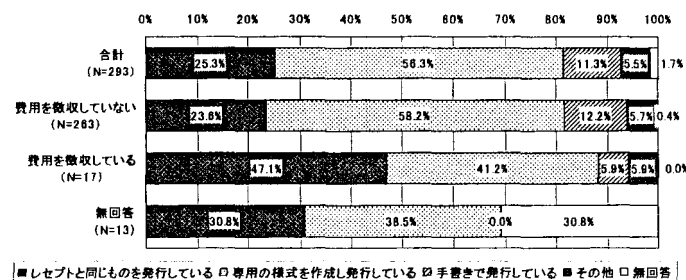
図表 45 明細書の発行方法（費用徴収の有無別：病院）



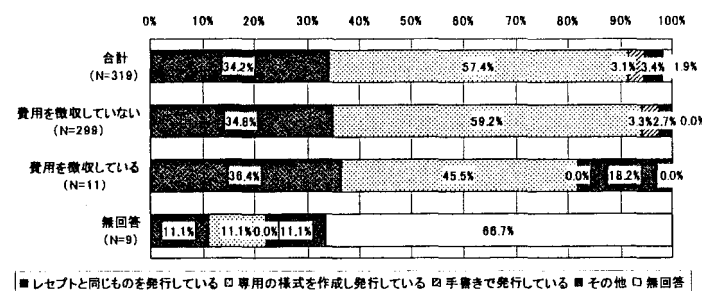
図表 46 明細書の発行方法（費用徴収の有無別：診療所）



図表 47 明細書の発行方法（費用徴収の有無別：歯科診療所）



図表 48 明細書の発行方法（費用徴収の有無別：保険薬局）

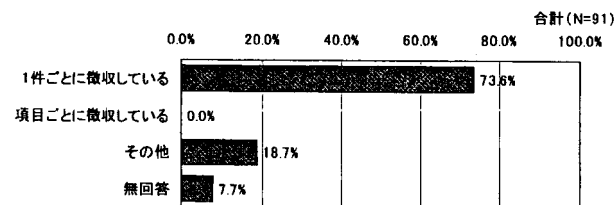


8) 費用徴収の方法

(ア) 医療機関全体

費用徴収の方法についてみると、「1件ごとに徴収している」(73.6%)が最も多く、次いで「その他」(18.7%)となっている。「項目ごとに徴収している」との回答は見られなかった。

図表 49 費用徴収の方法 (医療機関全体)

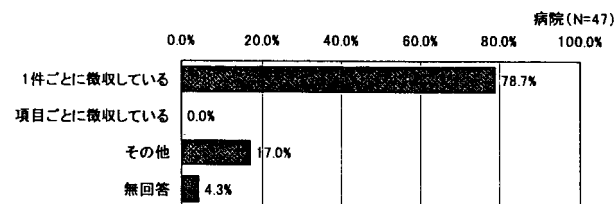


「その他」の具体的な内容としては、「10円/枚」、「初診のみ30円/件を徴収」、「1年ごとに徴収(525円/年)」、「入院・領収書単位、外来、1科1ヶ月単位、各1,050円」、「1ページ20円」等が挙げられている。

(イ) 病院

費用徴収の方法についてみると、「1件ごとに徴収している」(78.7%)が最も多く、次いで「その他」(17.0%)となっている。

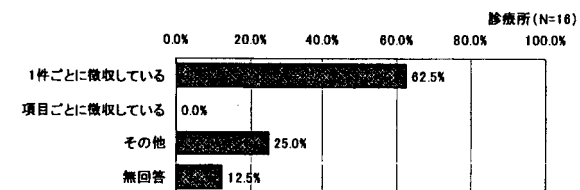
図表 50 費用徴収の方法 (病院)



(ウ) 診療所

費用徴収の方法についてみると、「1件ごとに徴収している」(62.5%)が最も多く、「その他」(25.0%)となっている。

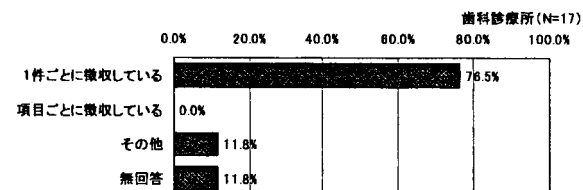
図表 51 費用徴収の方法 (診療所)



(エ) 歯科診療所

費用徴収の方法についてみると、「1件ごとに徴収している」(76.5%)が最も多く、「その他」(11.8%)となっている。

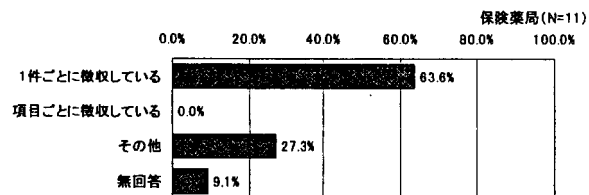
図表 52 費用徴収の方法 (歯科診療所)



(オ) 保険薬局

費用徴収の方法についてみると、「1件ごとに徴収している」(63.6%)が最も多く、「その他」(27.3%)となっている。

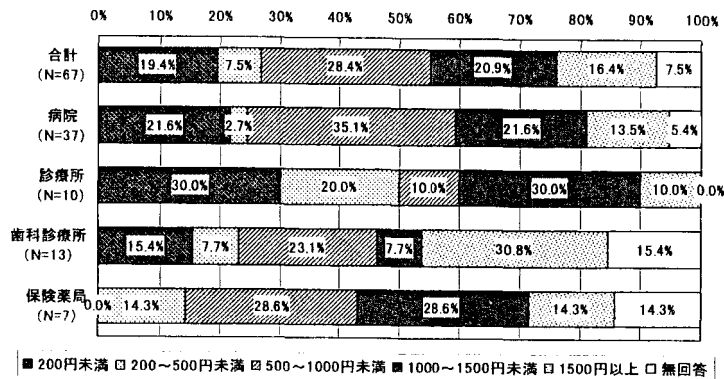
図表 53 費用徴収の方法 (保険薬局)



9) 費用徴収の金額 (1件ごとに徴収)

明細書について費用を徴収している医療機関は少ないため、データ数は少ないが、1件ごとに徴収している費用の金額についてみると、病院においては、「500～1000円未満」(35.1%)が最も多く、次いで「200円未満」、「1000円～1500円未満」(ともに21.6%)であった。診療所においては、「200円未満」、「1000～1500円未満」がともに30.0%となっている。また、歯科診療所においては、「1500円以上」(30.8%)が最も多く、保険薬局については、「500～1000円未満」、「1000～1500円未満」(ともに28.6%)となっている。

図表 54 費用徴収の金額 (1件ごとに徴収している場合)



各医療機関種別における、費用徴収の平均値、標準偏差、最大値、中央値、最小値は以下のとおりである。

図表 55 明細書発行にかかる費用

(単位:円)

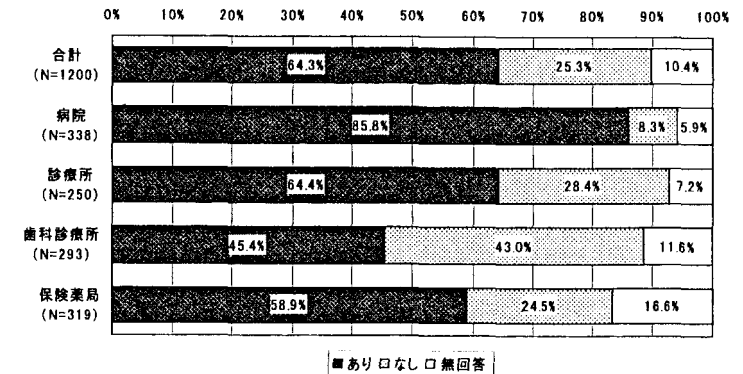
	平均値	標準偏差	最大値	中央値	最小値
合計	863.05	901.43	5,000	525	5
病院	761.23	653.37	3,000	525	10
診療所	620.50	595.80	2,000	400	5
歯科診療所	1,440.91	1,536.35	5,000	500	50
保険薬局	801.83	461.47	1,611	750	200

10) IT化の状況

(ア) 医事会計システム導入の有無

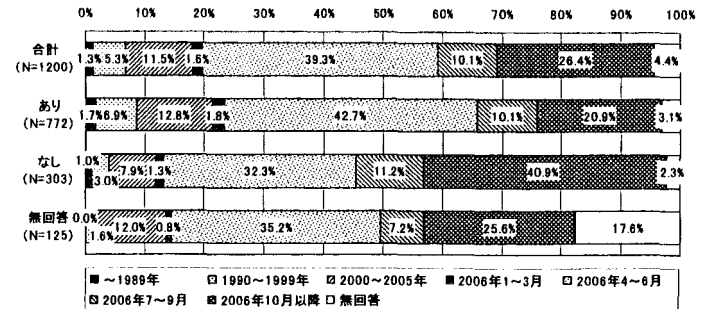
医事会計システム導入の有無についてみると、病院においては、「あり」(85.8%)、「なし」(8.3%)となっており、診療所においては、「あり」(64.4%)、「なし」(28.4%)となっている。また、歯科診療所においては、「あり」(45.4%)、「なし」(43.0%)となっており、保険薬局については、「あり」(58.9%)、「なし」(24.5%)となっている。

図表 56 医事会計システム導入の有無



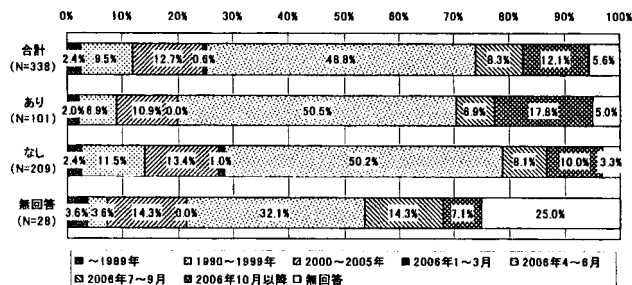
医事会計システムの導入有無と明細書の発行開始時期との関連についてみると、医療機関全体において、医事会計システムを導入している医療機関の方が早期に明細書を発行している傾向が見られた。

図表 57 医事会計システム導入有無と明細書発行開始時期との関連 (全体)

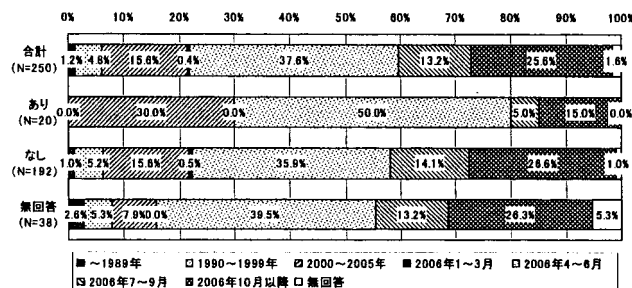


これを医療機関種別にみると、以下のとおりである。病院では医事会計システムを導入している医療機関の方が、明細書の発行開始時期が遅い傾向が見られているが、診療所では逆の結果となっている。

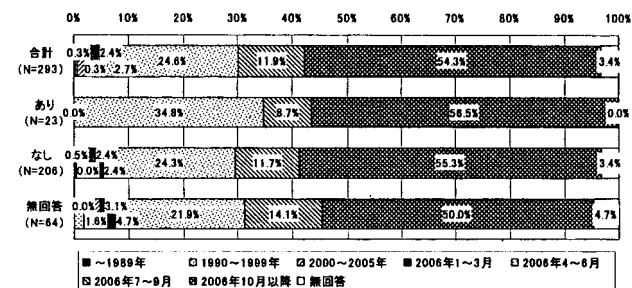
図表 58 医事会計システム導入有無と明細書発行開始時期との関連（病院）



図表 59 医事会計システム導入有無と明細書発行開始時期との関連（診療所）



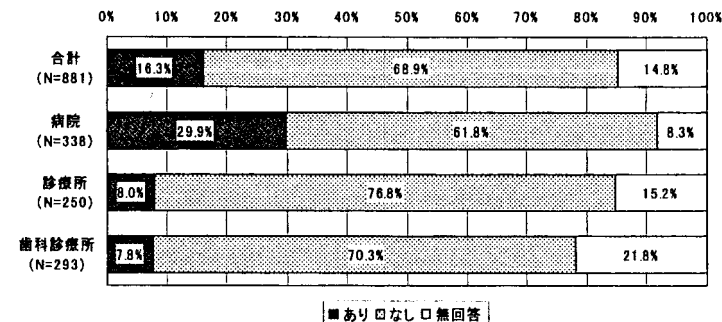
図表 60 医事会計システム導入有無と明細書発行開始時期との関連（歯科診療所）



(イ) オーダリングシステム導入の有無

オーダリングシステム導入の有無についてみると、病院においては、「あり」(29.9%)、「なし」(61.8%)となっており、診療所においては、「あり」(8.0%)、「なし」(76.8%)となっている。また、歯科診療所においては、「あり」(7.8%)、「なし」(70.3%)となっている。

図表 61 オーダリングシステム導入の有無



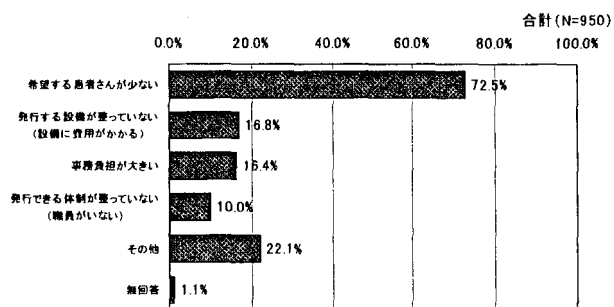
(7) 「個別診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない施設
の状況

1) 明細書を発行しない理由

(ア) 医療機関全体

明細書を発行していない医療機関に対して、発行しない理由についてみると、「希望する患者さんが少ない」(72.5%) が最も多くなっている。

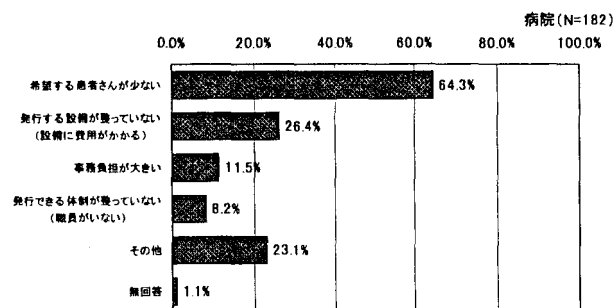
図表 62 明細書を発行しない理由(全体): 複数回答



(イ) 病院

明細書を発行しない理由についてみると、「希望する患者さんが少ない」(64.3%) が最も多く、次いで「発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる)」(26.4%) となっている。

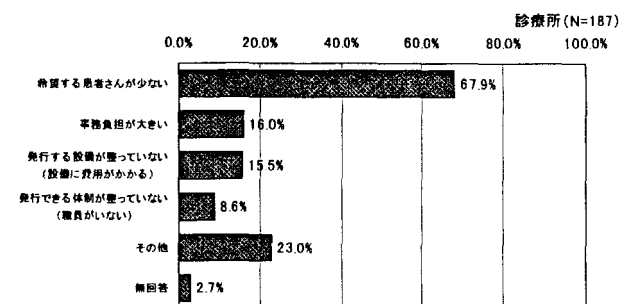
図表 63 明細書を発行しない理由(病院): 複数回答



(ウ) 診療所

明細書を発行しない理由についてみると、「希望する患者さんが少ない」(67.9%) が最も多くなっている。

図表 64 明細書を発行しない理由(診療所): 複数回答



(エ) 歯科診療所

明細書を発行しない理由についてみると、「希望する患者さんが少ない」(72.9%) が最も多く、次いで「事務負担が大きい」(31.4%)、「発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる)」(23.5%) となっている。

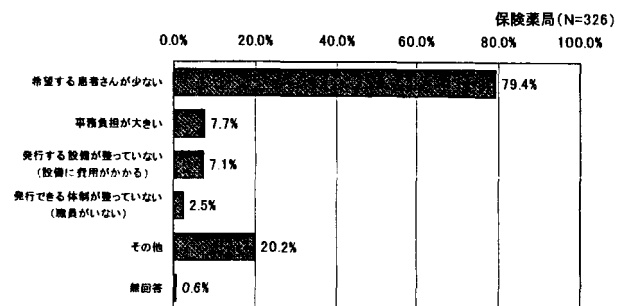
図表 65 明細書を発行しない理由(歯科診療所): 複数回答



(才) 保険薬局

明細書を発行しない理由についてみると、「希望する患者さんが少ない」(79.4%)が最も多くなっている。

図表 66 明細書を発行しない理由(保険薬局):複数回答



なお、発行しない理由のうちの、「その他」の主な回答は以下のとおりである。

【発行する予定】

- ・ 発行する予定あり。
- ・ 県病院局で様式等を検討中。
- ・ 12月から実施。
- ・ 平成19年4月から発行予定。
- ・ 11月より発行。
- ・ いつでも発行可能。
- ・ 基本的には全発行の予定。

【設備・体制が整っていない/整えば発行予定】

- ・ レセコンメーカーの設備費用次第で導入する。
- ・ 設備が整い次第発行する予定である。
- ・ 発行できる体制が整うまでは、詳細のわかる帳票を提示し説明に努める。
- ・ レセコン更新時には発行予定。
- ・ 体制が整いしだい発行予定。
- ・ ハード機器を導入してなるべく早目に対応する予定。
- ・ ソフトが整えられれば発行。

【患者の希望がない/希望があれば発行】

- ・ 発行方法、費用徴収について決められ、希望があれば発行する。
- ・ 患者様からの希望があれば検討して、特に問題(患者様自身のデメリット等)が無ければ発行。
- ・ 希望が多いようであれば検討したい。
- ・ 希望があれば院長に相談し、発行可。
- ・ 患者様から希望があれば手書で発行する。
- ・ 希望があればレセプトと同じものを発行することになり1件100円程度徴収する予定です。
- ・ 希望がないので発行しない。
- ・ もし申し出ありの場合レセプトコピーにての対応を考えている。

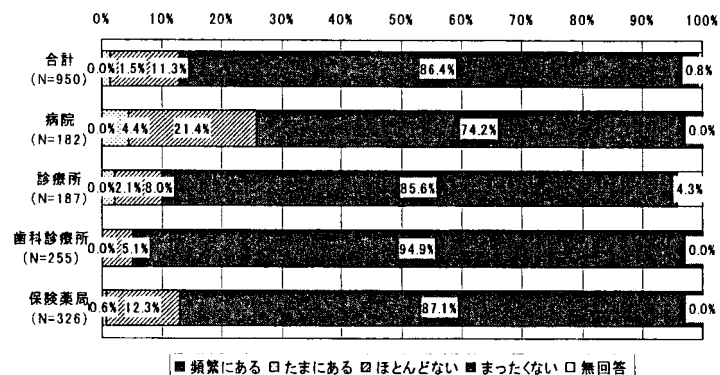
【その他】

- ・ 診療報酬点数に該当が無い。
- ・ 受診者は従業員(健保・本人)のみで医療費は無料(徴収しない)のため発行する必要がない。
- ・ 診療再開は能力的に不可能であり発行する可能性なし。
- ・ 近々診療所廃止のため。
- ・ どういう明細書かわからない。

2) 患者さんからの明細書発行の要求の有無

患者さんから明細書発行の要求の有無についてみると、病院においては、「まったくない」(74.2%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(21.4%)となっており、診療所においては、「まったくない」(85.6%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(8.0%)となっている。また、歯科診療所においては、「まったくない」(94.9%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(5.1%)となっており、保険薬局においては、「まったくない」(87.1%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(12.3%)となっている。

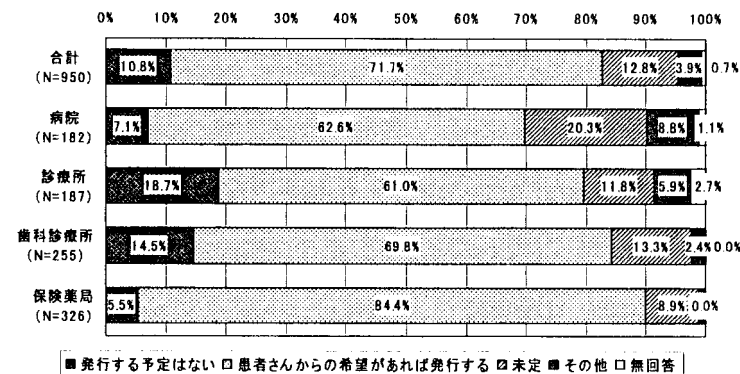
図表 67 患者さんからの明細書発行の要求の有無



3) 今後の方針

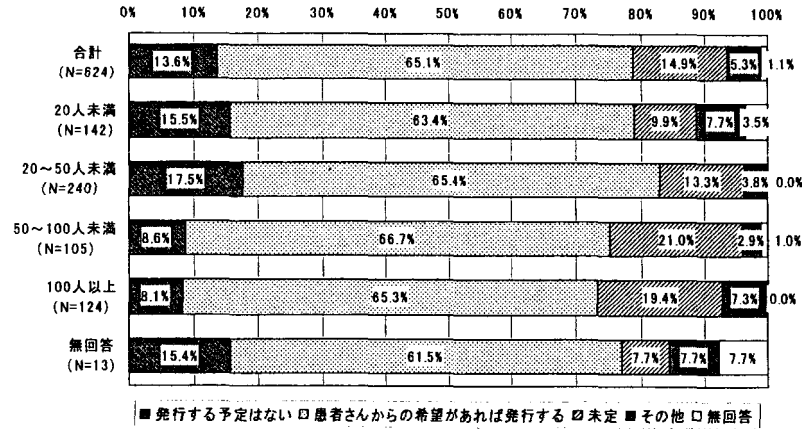
今後の方針についてみると、病院においては、「患者さんからの希望があれば発行する」(62.6%)が最も多く、次いで「未定」(20.3%)となっており、診療所においては、「患者さんからの希望があれば発行する」(61.0%)が最も多く、次いで「発行する予定はない」(18.7%)となっている。また、歯科診療所においては、「患者さんからの希望があれば発行する」(69.8%)が最も多く、次いで「発行する予定はない」(14.5%)となっており、保険薬局においては、「患者さんからの希望があれば発行する」(84.4%)が最も多く、次いで「未定」(8.9%)となっている。

図表 68 今後の方針

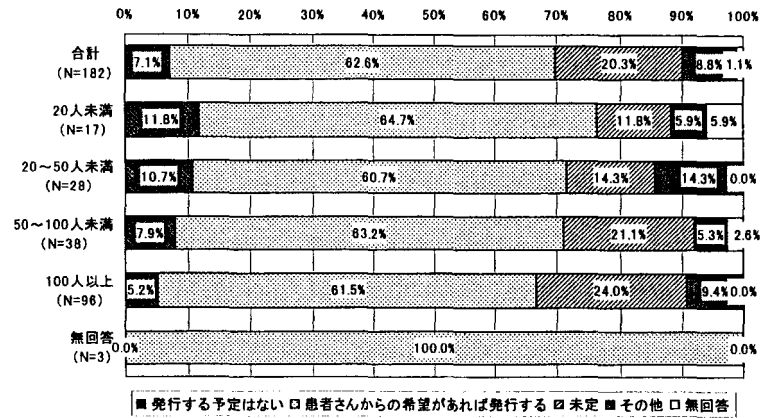


これを外来患者数別に見ると、医療機関全体では、外来患者数が少ない方が、「発行する予定はない」と回答している傾向が認められる。特に、病院においてそのような傾向がみられている。

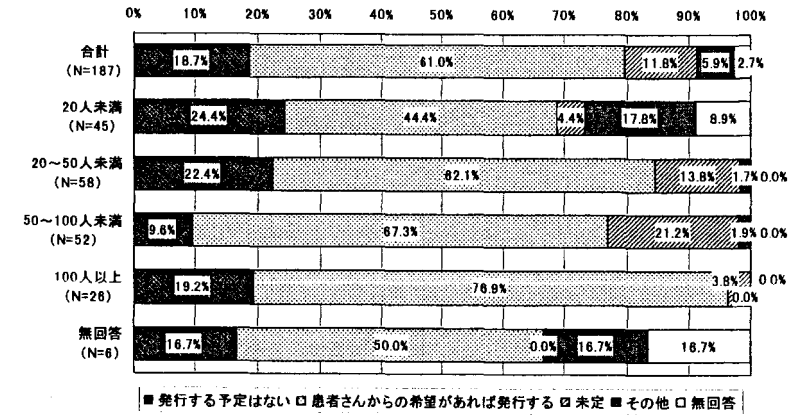
図表 69 今後の方針（外来患者数別：全体）



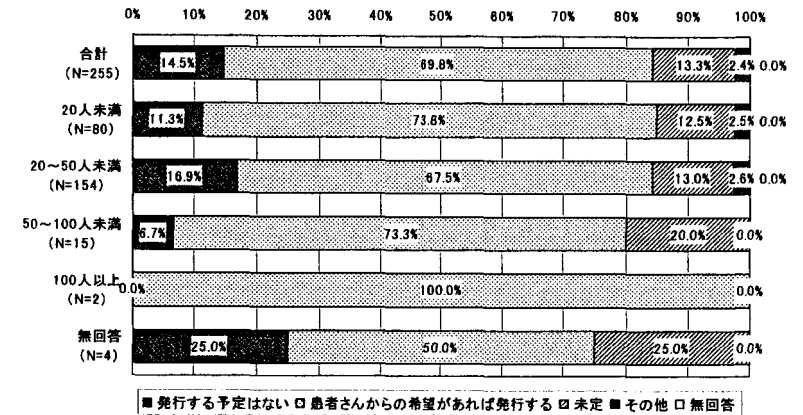
図表 70 今後の方針（外来患者数別：病院）



図表 71 今後の方針（外来患者数別：診療所）



図表 72 今後の方針（外来患者数別：歯科診療所）



保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査 **診療所用**

※回答の際には、**あてはまる番号を○(マル)で囲んでください**。また、()内には**具体的な数値、用語等**をご記入ください。()内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴院の状況 (平成18年10月現在) についてお聞きします。

開設主体 ※1つだけ選択	1. 国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等) 2. 公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等) 3. 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等) 4. 法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等) 5. 個人		
所在地(都道府県)	() 都・道・府・県	施設区分	1. 無床診療所 2. 有床診療所() 床
一日平均外来患者数 ※平成18年10月	() 人	事務職員数(常勤換算)	() 人

※事務職員とは、主に医療事務に携わる職員全てを指します。
 ※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は整数(小数点以下四捨五入)でお答えください。
 ①1週間に常勤勤務の場合(非常勤職員1)週間の勤務時間 ÷ (常勤換算されている常勤職員の1週間の勤務時間)
 ②1ヶ月に常勤勤務の場合(非常勤職員1)ヶ月の勤務時間 ÷ (常勤換算されている常勤職員の1ヶ月間の勤務時間×4)

(2) 領収証(個別の費用ごとに区分して記載されているもの)の発行状況についてお聞きします。

発行開始時期 ※合計金額のみの領収証ではなく、個別の費用ごとに区分して記載されている領収証の発行開始時期をご記入ください	平成()年()月
発行の方法	1. プリンタで出力して発行 2. 手書きで発行 3. 1と2の両方
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 () 件 入院 () 件
平成18年9月までの発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行していた 2. 体制が未整備のため発行していなかった 3. 体制は未整備だが求めがあれば(手書きで)発行していた 4. その他()

(3) 患者さんから求めがあったときに発行に努めることとされている「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」についてお聞きします。貴院ではこの明細書を発行していますか。

1. 発行している 2. 発行していない

質問(4)へお戻りください 次ページの質問(5)へお戻りください

(4) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行している施設にお聞きします。

明細書の発行に関する患者さんへの周知方法 ※複数回答可 ※1.および2.に該当した方は、()内に貼っている場所あるいは掲示している場所の数をご記入ください	1. 待合室に明細書を発行している旨のポスター等を貼っている 2. 支払い窓口で明細書を発行している旨を掲示している 3. 来院者にチラシ等を配布している 4. 特に関心周知していない 5. その他()
具体的な周知内容 ※複数回答可	1. 明細書と領収証の違いが分かるように両者の見本などを示している 2. 明細書の具体的な内容を示している 3. 特に関心周知していない 4. その他()

※ページへ続きませす

※ページから続きませす

発行開始時期	平成()年()月
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 () 件 入院 () 件
発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行している 2. 希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している 3. 希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある 4. その他()
発行方法 ※1つだけ選択	1. レシートと同じものを発行している 2. 専用の様式を作成し発行している 3. 手書きで発行している 4. その他()
費用徴収の方法 ※複数回答可 ※複数回答可 ※おおよそについてもお答えください	1. 費用を徴収していない 2. 費用を徴収している 3. その他()
IT化の状況	医療会計システム導入の有無 1. あり 2. なし オーダリングシステム導入の有無 1. あり 2. なし

(5) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない施設にお聞きします。

※前ページの(3)で「2.発行していない」と回答した施設のみご記入ください。

明細書を発行しない理由 ※複数回答可	1. 事務負担が大きい 2. 希望する患者さんが少ない 3. 発行できる体制が整っていない(職員がいない) 4. 発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる) 5. その他()
今までに患者さんから明細書の発行を求められたことはあるか ※1つだけ選択	1. 頻りにある 2. たまにある 3. ほとんどない 4. まったくない
今後の方針 ※1つだけ選択	1. 発行する予定はない 2. 患者さんからの希望があれば発行する 3. 未定 4. その他()

(6) 領収証や明細書の発行について、ご意見等がございましたらご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査 **歯科診療所用**

※回答の際には、**あてはまる番号を○(マル)で囲んでください**。また、()内には**具体的な数値、用語等**をご記入ください。()内に入る数値がない場合には、「0(ゼロ)」をご記入ください。

(1) 貴院の状況 (平成18年10月現在) についてお聞きします。

開設主体 ※1つだけ選択	1. 国(厚生労働省、国立病院機構、国立大学法人、労働者健康福祉機構等) 2. 公的医療機関(都道府県、市町村、日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会等) 3. 社会保険関係団体(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合等) 4. 法人(公益法人、医療法人、学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他の法人等) 5. 個人		
所在地(都道府県)	() 都・道・府・県	施設区分	1. 無床診療所 2. 有床診療所() 床
一日平均外来患者数 ※平成18年10月	() 人	事務職員数(常勤換算)	() 人

※事務職員とは、主に医療事務に携わる職員全てを指します。
 ※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算後の職員数は整数(小数点以下四捨五入)でお答えください。
 ①1週間に常勤勤務の場合(非常勤職員1)週間の勤務時間 ÷ (常勤換算されている常勤職員の1週間の勤務時間)
 ②1ヶ月に常勤勤務の場合(非常勤職員1)ヶ月の勤務時間 ÷ (常勤換算されている常勤職員の1ヶ月間の勤務時間×4)

(2) 領収証(個別の費用ごとに区分して記載されているもの)の発行状況についてお聞きします。

発行開始時期 ※合計金額のみの領収証ではなく、個別の費用ごとに区分して記載されている領収証の発行開始時期をご記入ください	平成()年()月
発行の方法	1. プリンタで出力して発行 2. 手書きで発行 3. 1と2の両方
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 () 件 入院 () 件
平成18年9月までの発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行していた 2. 体制が未整備のため発行していなかった 3. 体制は未整備だが求めがあれば(手書きで)発行していた 4. その他()

(3) 患者さんから求めがあったときに発行に努めることとされている「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」についてお聞きします。貴院ではこの明細書を発行していますか。

1. 発行している 2. 発行していない

質問(4)へお戻りください 次ページの質問(5)へお戻りください

(4) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行している施設にお聞きします。

明細書の発行に関する患者さんへの周知方法 ※複数回答可 ※1.および2.に該当した方は、()内に貼っている場所あるいは掲示している場所の数をご記入ください	1. 待合室に明細書を発行している旨のポスター等を貼っている 2. 支払い窓口で明細書を発行している旨を掲示している 3. 来院者にチラシ等を配布している 4. 特に関心周知していない 5. その他()
具体的な周知内容 ※複数回答可	1. 明細書と領収証の違いが分かるように両者の見本などを示している 2. 明細書の具体的な内容を示している 3. 特に関心周知していない 4. その他()

※ページへ続きませす

※ページから続きませす

発行開始時期	平成()年()月
1ヶ月間の発行件数 ※平成18年10月	外来 () 件 入院 () 件
発行状況 ※1つだけ選択	1. 全ての患者さんに発行している 2. 希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している 3. 希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある 4. その他()
発行方法 ※1つだけ選択	1. レシートと同じものを発行している 2. 専用の様式を作成し発行している 3. 手書きで発行している 4. その他()
費用徴収の方法 ※複数回答可 ※複数回答可 ※おおよそについてもお答えください	1. 費用を徴収していない 2. 費用を徴収している 3. その他()
IT化の状況	医療会計システム導入の有無 1. あり 2. なし オーダリングシステム導入の有無 1. あり 2. なし

(5) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない施設にお聞きします。

※前ページの(3)で「2.発行していない」と回答した施設のみご記入ください。

明細書を発行しない理由 ※複数回答可	1. 事務負担が大きい 2. 希望する患者さんが少ない 3. 発行できる体制が整っていない(職員がいない) 4. 発行する設備が整っていない(設備に費用がかかる) 5. その他()
今までに患者さんから明細書の発行を求められたことはあるか ※1つだけ選択	1. 頻りにある 2. たまにある 3. ほとんどない 4. まったくない
今後の方針 ※1つだけ選択	1. 発行する予定はない 2. 患者さんからの希望があれば発行する 3. 未定 4. その他()

(6) 領収証や明細書の発行について、ご意見等がございましたらご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

保険医療機関等における医療費の内容が分かる明細書の発行状況調査 (保険薬局用)

※回答の際には、あてはまる番号を○(マル)で囲んでください。また、()内には具体的な数値、用語等をご記入ください。()内に入る数値がない場合は、「0」(ゼロ)をご記入ください。

(1) 貴薬局の状況 (平成18年10月現在) についてお聞きします。

所在地 (都道府県名)	() 都・道・府・県	組織形態	1 法人 2 個人
職員数 (常勤換算)	薬剤師 () 人	その他 (事務職員等)	() 人
※常勤換算とは、主に医療事務に携わる職員全てを指します。 ※常勤換算については、以下の方法で算出してください。また、常勤換算の職員数は患者 (小児科以下5人) でお答えください。 ■1 通常に常勤勤務の場合: (常勤勤務員の1日間の勤務時間) ÷ (貴薬局が定めている常勤勤務員の1日間の勤務時間) ■2 ヶ月に夜間勤務の場合: (夜間勤務員の1ヶ月の勤務時間) ÷ (貴薬局が定めている常勤勤務員の1日間の勤務時間 × 4)			
調剤基本料※1つだけ選択	1 調剤基本料 (42点)	2 調剤基本料 (19点)	
基準調剤加算※1つだけ選択	1 基準調剤加算1 (16点)	2 基準調剤加算2 (30点)	3 設定していない
主な処方せん発行医療機関	1 病院 2 診療所	1ヶ月間 (平成18年10月) の	() 枚
※1つだけ選択	1 病院 2 診療所	取り扱い処方せん枚数	() 枚

(2) 領収証 (個別の費用ごとに区分して記載されているもの) の発行状況についてお聞きします。

発行開始時期	※会計全額のみが領収証ではなく、個別の費用ごとに区分して記載されている領収証の発行開始時期をご記入ください	平成 () 年 () 月 () 日
発行の方法	1. プリンタで出力して発行 2. 手書きで発行 3. 1と2の両方	
1ヶ月間の発行枚数	※平成18年10月	() 枚
平成18年9月までの発行状況	1. 全ての患者さんに発行していた 2. 体制が未整備のため発行していなかった	
※1つだけ選択	3. 体制は未整備だが求めがあれば (手書きで) 発行していた 4. その他 ()	

(3) 患者さんから求めがあったときに発行に努めることとされている「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」についてお聞きします。貴薬局ではこの明細書を発行していますか。

1. 発行している	2. 発行していない
-----------	------------

質問 (4)へお進みください

次ページの質問 (5)へお進みください

(4) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行している薬局にお聞きします。

明細書の発行に関する患者さんへの周知方法	1. 持合室に明細書を発行している旨のポスター等を貼っている貼っている場所 () 箇所
※複数回答可	2. 支払い窓口で明細書を発行している旨を掲示している掲示している場所 () 箇所
※1および2に該当した方は、()内に貼っている場所あるいは掲示している場所の数をご記入ください	3. 薬局等にチラシ等を配布している
	4. 他に何も周知していない
	5. その他 ()
具体的な周知内容	1. 明細書と領収証の違いが分かるように両者の見本などを示している
※複数回答可	2. 明細書の具体的な内容を示している
	3. 他に何も周知していない
	4. その他 ()

次ページへお進みください

前ページから読む

発行開始時期	平成 () 年 () 月 () 日	1ヶ月間の発行枚数	() 枚
		※平成18年10月	
発行状況	1. 全ての患者さんに発行している 2. 希望があれば、希望した患者さんすべてに発行している 3. 希望があれば発行しているが、治療上の理由などで差し支えのある場合には発行を断ることもある 4. その他 ()		
発行方法	1. レシートと同じものを発行している 2. 専用の様式を作成し発行している 3. 手書きで発行している 4. その他 ()		
費用徴収の方法	1. 費用を徴収していない 2. 費用を徴収している徴収方法 (複数回答可) および金額についてもお答えください1 1件ごとに徴収している⇒ () 円/1件2 項目ごとに徴収している⇒ () 円/項目3 その他 ()		
IT化の状況	医療会計システム導入の有無	1. あり	2. なし

(5) 「個別の診療報酬点数の算定項目の分かる明細書」を発行していない薬局にお聞きします。 ※前ページの (3) で「2. 発行していない」と回答した施設のみご記入ください。

明細書を発行しない理由	1. 事務負担が大きい 2. 希望する患者さんが少ない 3. 発行できる体制が整っていない (職員がいない) 4. 発行する設備が整っていない (設備に費用がかかる) 5. その他 ()			
※複数回答可				
今までに患者さんから明細書の発行を求められたことはあるか	1. 頻繁にある 2. たまにある 3. ほとんどない 4. まったくない			
※1つだけ選択				
今後の方針	1. 発行する予定はない 2. 患者さんからの希望があれば発行する 3. 未定 4. その他 ()			
※1つだけ選択				

(6) 領収証や明細書の発行について、ご意見等がございましたらご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。